

# 田子の浦港

改訂版

PORT OF TAGONOURA

# 振興ビジョン



# Contents



## Prologue ..... 1

- 01 ビジョン策定の背景と目的 ..... 2
- 02 ビジョンの位置づけ ..... 3
- 03 ビジョンの策定体制 ..... 4
- 04 ビジョンの改訂 ..... 5

## 防災対策編 ..... 7

- 01 南海トラフ巨大地震を想定した最大クラスの津波 ..... 8
- 02 津波対策の全体像 ..... 10
- 03 津波対策の基本方針 ..... 11
- 04 減災目標の設定 ..... 12
- 05 具体的な取組(ソフト対策・ハード対策)と期待される効果 ..... 15
- 06 取組の展開スケジュール ..... 22

## にぎわいづくり編 ..... 23

- 01 田子の浦港周辺の地域資源 ..... 24
- 02 にぎわいづくりのコンセプト ..... 26
- 03 基本目標と取組の内容 ..... 27
- 04 取組の展開スケジュール ..... 32

## Epilogue ..... 33

- 01 ビジョンの推進に向けて ..... 34

# Prologue



田子の浦港からの駿河湾



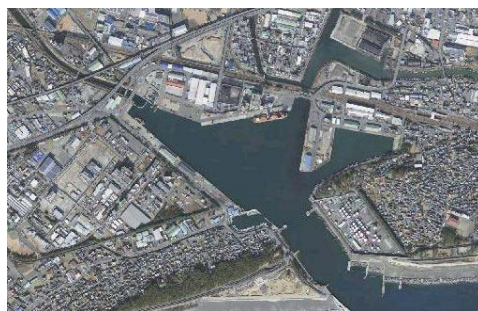
# 01 ビジョン策定の背景と目的

## 1. ビジョン策定の背景

### ● 田子の浦港の概要

…田子の浦港は、昭和 36 年に開港、39 年に重要港湾、41 年に関税法による開港の指定を受けるなど、名実ともに国際港として順調に発展してきました。

…また、富士岳南地域をはじめ、静岡県東部、山梨県内の産業経済を支えるバルク貨物の拠点港として、大きな役割を果たしています。



田子の浦港

「平成 25 年度に静岡県第 4 次地震被害想定が公表されました。」

…このような中、平成 25 年度に静岡県第 4 次地震被害想定が公表され、新たな被害想定に基づいた具体的な地震津波対策を検討することが可能になりました。

「平成 25 年 6 月 26 日に富士山が世界文化遺産に登録されました。」

…また、平成 25 年 6 月 26 日に富士山が世界文化遺産に登録され、富士山に一番近い港として、工業港としての機能だけでなく、観光面からも大きな期待が寄せられました。

「田子の浦港の活性化に向け、新たなビジョンの策定が必要になりました。」

…このような社会情勢（静岡県第 4 次地震被害想定・富士山世界文化遺産登録）が契機となり、田子の浦港の活性化に向け、新たなビジョンの策定が必要になりました。

## 2. ビジョン策定の目的

「田子の浦港振興ビジョン」は、前項の背景を踏まえ、田子の浦港周辺の防災対策の推進と、観光・交流の促進によるにぎわいづくりの創造を目的とした「将来構想」になります。

田子の浦港振興ビジョンは、**防災対策**と**にぎわいづくり**の2本立ての将来構想です。

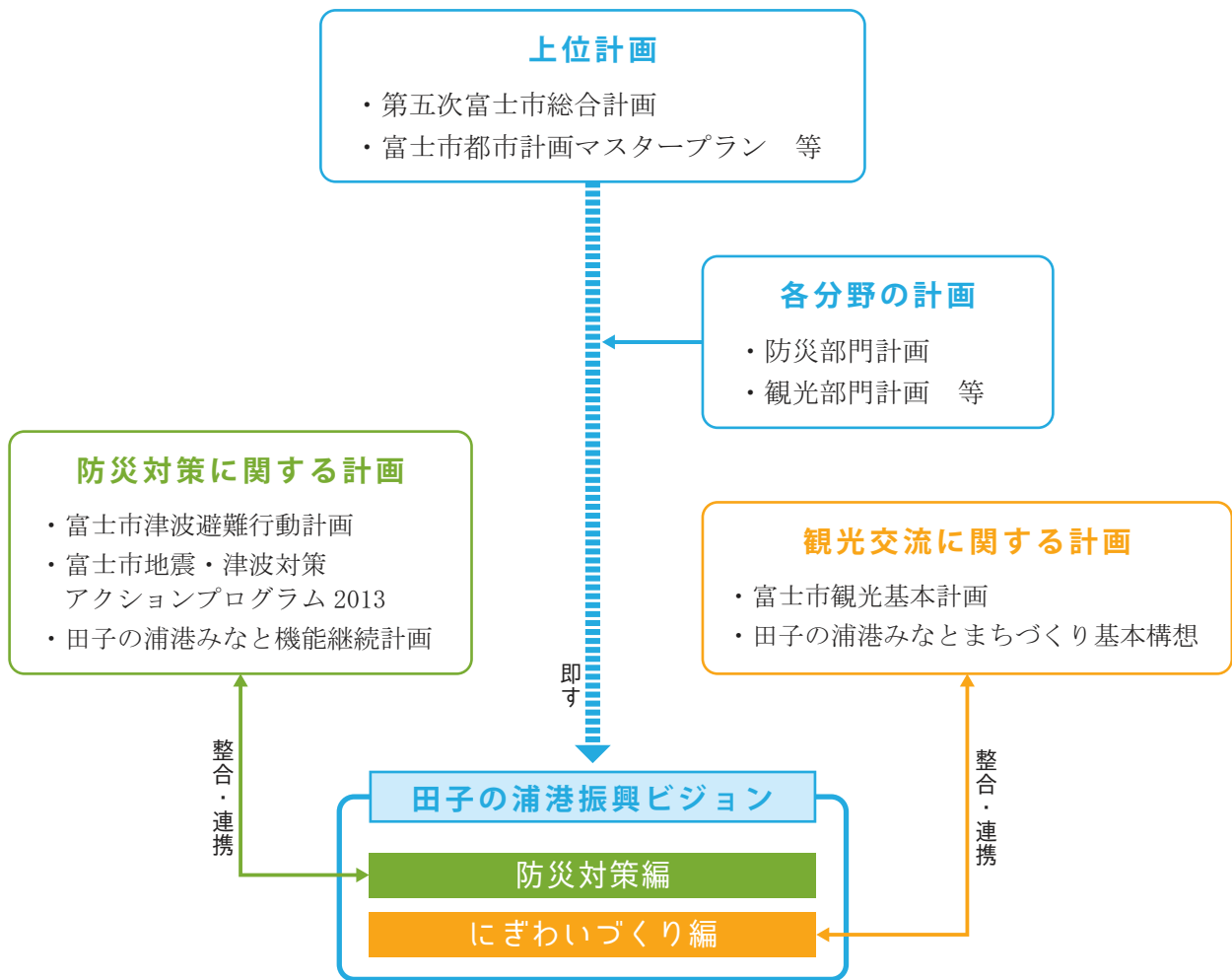


## 02 ビジョンの位置づけ

本ビジョンの策定にあたっては、富士市が策定する「総合計画」や「都市計画マスタープラン」といった上位計画に即すとともに、防災、観光など関連する各分野の計画や、防災対策、観光交流などに関する個別計画などと整合・連携を図ります。

### ● 整合・連携を図る個別計画

- ・ 富士市津波避難行動計画（富士市）
  - ・ 富士市地震・津波対策アクションプログラム 2013（富士市）
  - ・ 田子の浦みなと機能継続計画（田子の浦港防災対策連絡協議会）
  - ・ 富士市観光基本計画（富士市）
  - ・ 田子の浦港みなとまちづくり基本構想（静岡県・富士市）
- ※(カッコ内)：策定主体



田子の浦港振興ビジョンと他計画との関係

## 03 ビジョンの策定体制

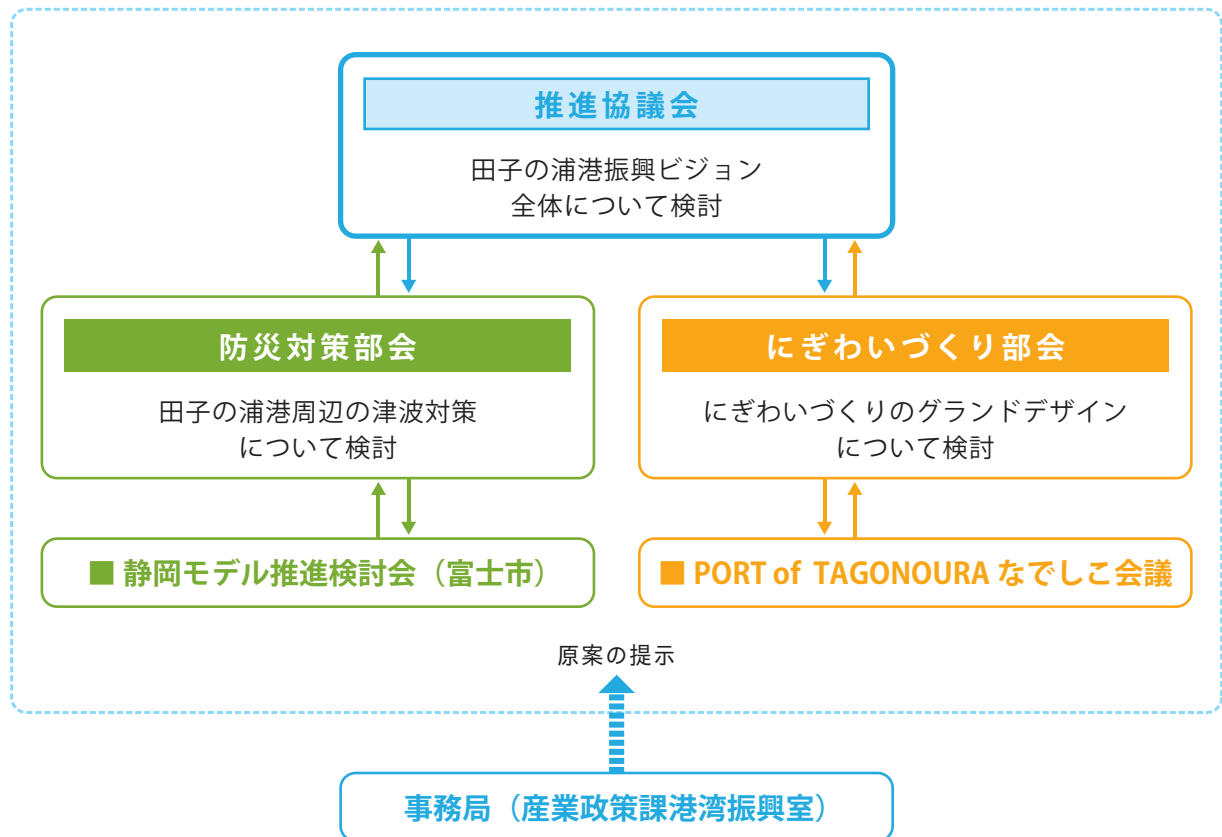
本ビジョンの策定にあたっては、事務局である産業政策課港湾振興室が原案を作成し、田子の浦港振興ビジョン推進協議会（全体会議）、防災対策部会、にぎわいづくり部会の各検討組織において、具体的な検討を進めてきました。

このうち、推進協議会は、本ビジョン全体について検討を行いました。

また、防災対策部会は、田子の浦港周辺の津波対策について、にぎわいづくり部会は、にぎわいづくりのランドデザインについて検討を行いました。

なお、推進協議会はビジョンの策定にとどまらず、防災対策やにぎわいづくりに関する事業を実施する主体としても位置づけられています。

### 【策定体制のイメージ】



#### ■ 静岡モデル推進検討会（富士市） ※ 事務局：静岡県港湾整備課

静岡モデル推進検討会（富士市）は、静岡県、富士市の職員で構成された組織であり、田子の浦港周辺の津波対策について、専門的かつ技術的な見地から検討を行っていただきました。

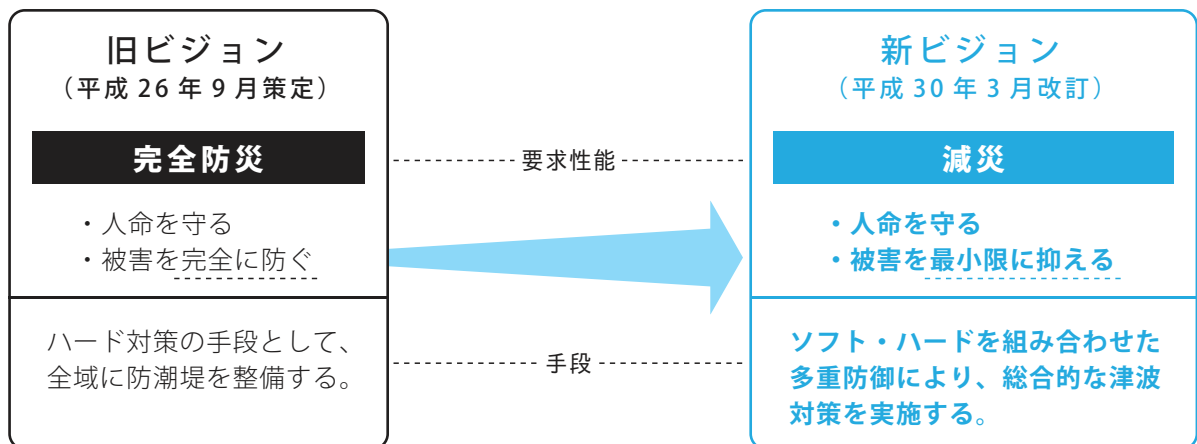
#### ■ PORT of TAGONOURA なでしこ会議

PORT of TAGONOURA なでしこ会議は、港周辺企業や各種団体などから選出された女性会員で構成し、にぎわいづくりのランドデザインについて、女性ならではの意見を述べていただきました。



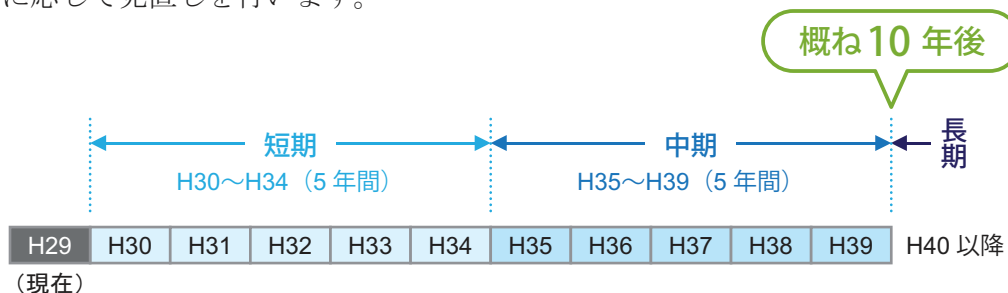
## 1. ビジョン改訂の背景

- 「平成 26 年 9 月に策定した田子の浦港振興ビジョン（以下「旧ビジョン」という。）」の防災対策は、「レベル 2 津波による被害を、ハード対策で完全に防ぐ」という「完全防災」の考え方にに基づき、国・県が掲げる防災対策よりワンランク上の要求性能を目指しました。
- 「今般改訂する田子の浦港振興ビジョン（以下「新ビジョン」という。）」の防災対策は、「ソフト・ハードの多重防御により、レベル 2 津波による被害を最小限に抑える」という「減災」の考え方にに基づき、方針転換を図ることとなりました。
- 防災対策に係る要求性能として、「完全防災」という考え方から、「減災」という、より現実的な方向に方針転換を図り、ソフト・ハードを組み合わせた多重防御により、総合的な津波対策を実施するため、ビジョンを改訂するものです。



## 2. 新ビジョンにおける将来

- 概ね 10 年後の将来を見据えて改訂します。なお、社会・経済情勢の変化などがあつた場合は、必要に応じて見直しを行います。



### 3. 新ビジョンの改訂概要

○防災対策：完全防災から減災への方針転換に伴い、既成概念にとらわれず見直します。

○にぎわいづくり：防災対策の方針転換に伴い、防潮堤施設を活用した考え方を見直します。

### 4. 新ビジョンの構成

---

#### 防災対策編

- 01 南海トラフ巨大地震を想定した最大クラスの津波
  - 1. レベル2津波による浸水想定
  - 2. レベル2津波による被害想定
  - 3. レベル2津波のメカニズム(経時変化)
- 02 津波対策の全体像
- 03 津波対策の基本方針
  - 1. 対象津波 「レベル2」
  - 2. 要求性能 「減災」
  - 3. 対策メニュー 「多重防御」
- 04 減災目標の設定
  - 1. 減災目標Ⅰ 人命を守る
  - 2. 減災目標Ⅱ 経済的損失を軽減する
  - 3. 減災目標Ⅲ 早期復旧を図る
- 05 具体的な取組(ソフト対策・ハード対策)と期待される効果
  - 1. 津波から逃げる
  - 2. 津波に備える
  - 3. 津波を防ぐ
  - 4. 期待される効果
- 06 取組の展開スケジュール

---

#### にぎわいづくり編

- 01 田子の浦港周辺の地域資源
- 02 にぎわいづくりのコンセプト
- 03 基本目標と取組の内容
  - 1. 基本目標Ⅰ 拠点内に たまる にぎわいづくり
  - 2. 基本目標Ⅱ 拠点間をつなぐ にぎわいづくり
  - 3. 基本目標Ⅲ 地域資源をめぐる にぎわいづくり
  - 4. 基本目標Ⅳ 戦略的な プロモーション によるにぎわいづくり
- 04 取組の展開スケジュール



# 防災対策編



海岸線約 10km に渡る、海拔 17m の防潮堤（富士海岸）



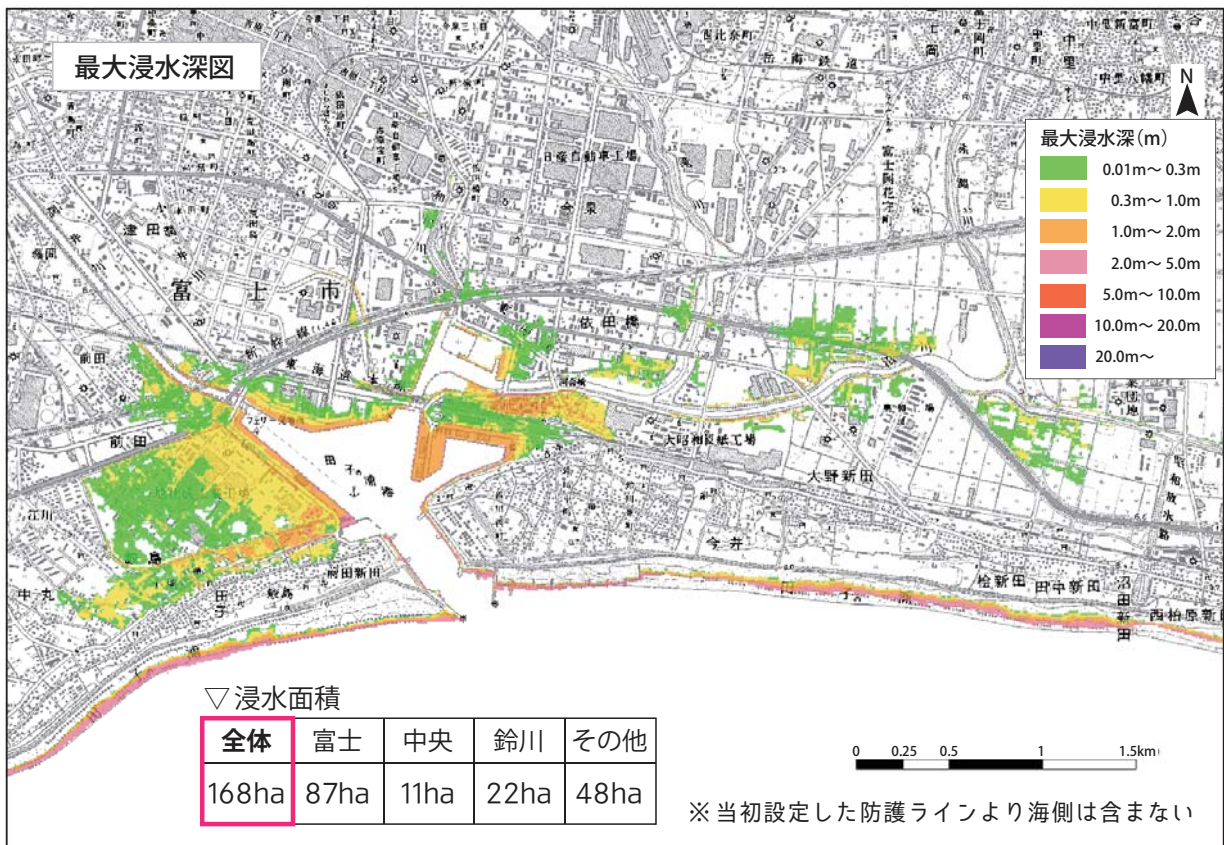
# 01 南海トラフ巨大地震を想定した最大クラスの津波

## 1. レベル 2 津波による浸水想定

平成 25 年度に公表された静岡県第 4 次地震被害想定を参考に、富士市におけるレベル 2 の津波（南海トラフ巨大地震を想定した最大クラスの津波）による浸水面積を独自に再現すると、168 ㌆になります（当初設定した防護ラインより海側の面積は含みません）。

※2 つのレベルの津波

<b>レベル1の津波</b>	発生頻度が比較的高く（100～150年に1度）、発生すれば大きな被害をもたらす津波
<b>レベル2の津波</b>	発生頻度が極めて低い（千年～数千年に1度）が、発生すれば甚大な被害をもたらす <b>あらゆる可能性を考慮した最大クラス</b> の津波



南海トラフ巨大地震／レベル 2 津波による浸水想定（富士市作成）

## 2. レベル 2 津波による被害想定

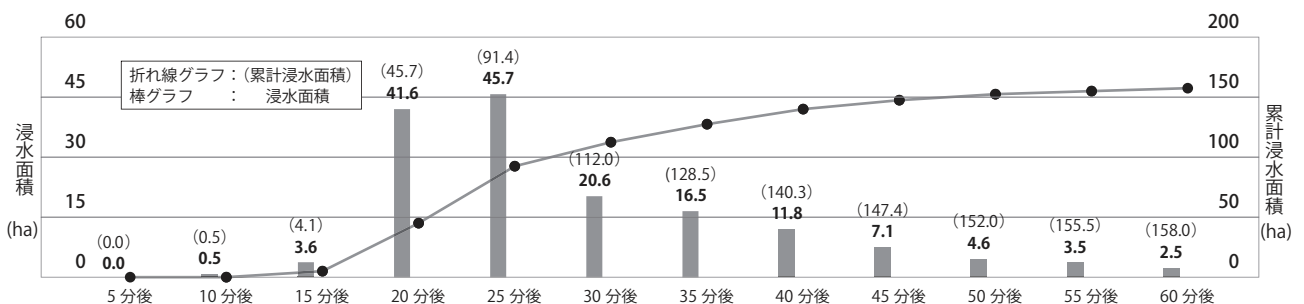
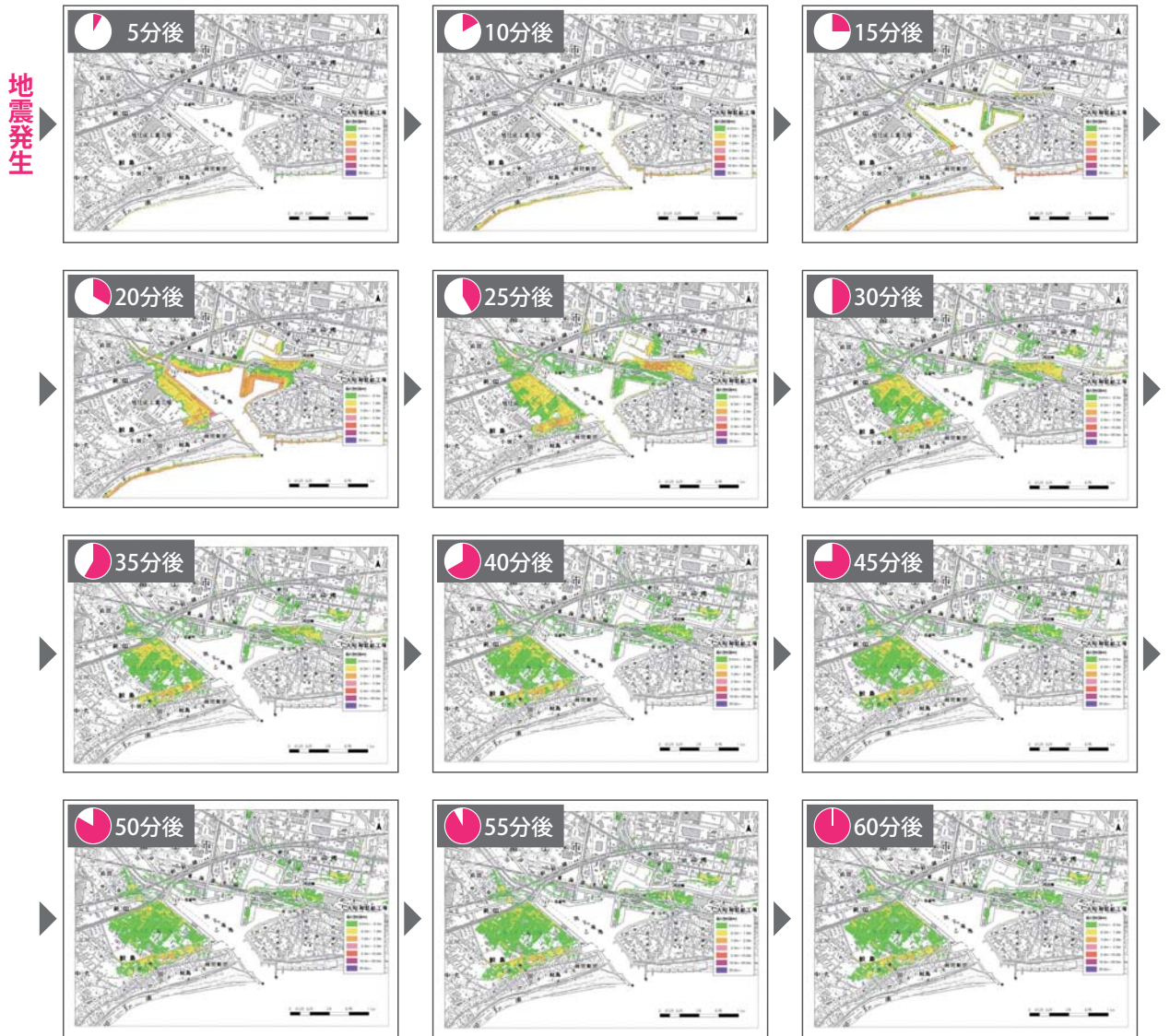
静岡県第 4 次地震被害想定によると、レベル 2 津波による富士市の人的被害（死者数）は 90 人と想定されています（季節：冬、時間帯：深夜、避難行動：早期避難率低）。

また、建物被害は、全壊 10 棟、半壊 200 棟と想定されています。

### 3. レベル 2 津波のメカニズム（経時変化）

田子の浦港内への第一波（最大波）の到達時間は、地震発生から約 19 分後です。

地震発生から 60 分後までの 5 分間隔の浸水面積の変化（経時変化）は次のとおりであり、地震発生から 25 分後には、累計浸水面積が 91.4 ㌠になると想定されています。

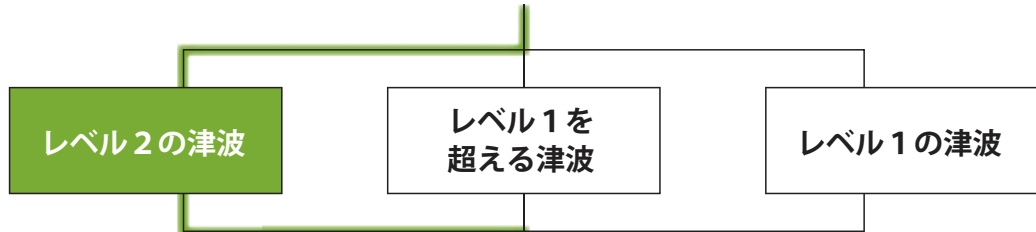




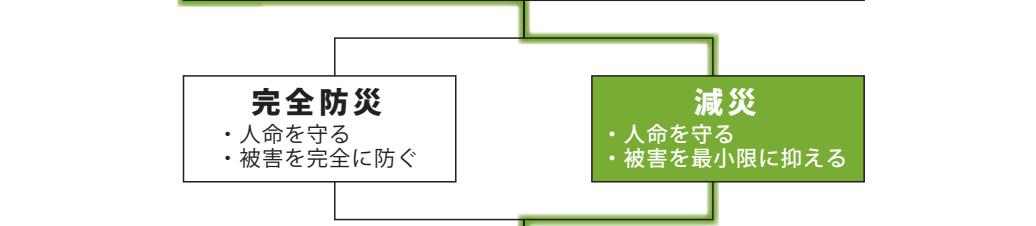
# 02 津波対策の全体像

[目的] 市民・企業の生命・財産を守り、地域経済の甚大な被害を防ぐこと

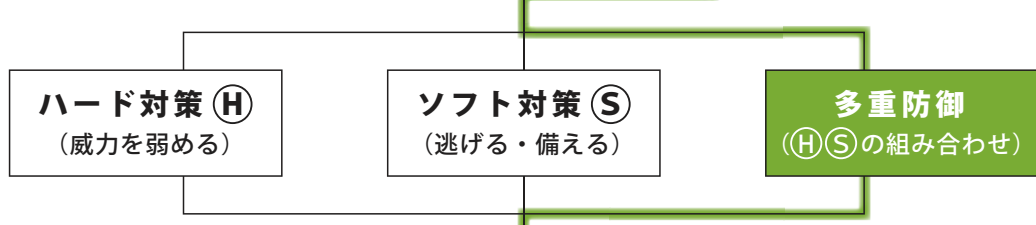
[対象津波]



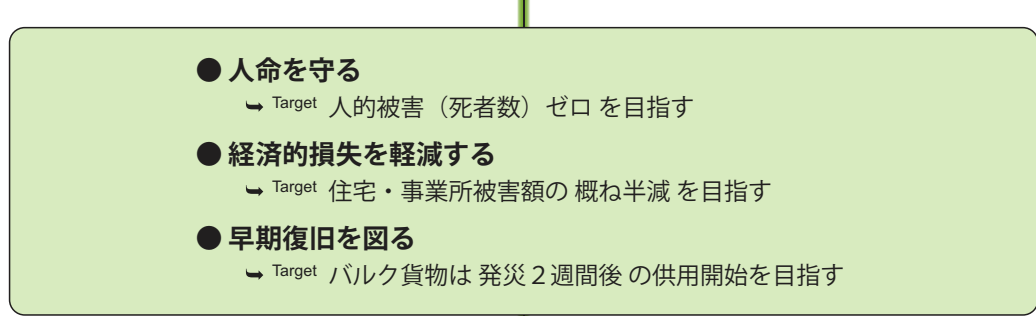
[要求性能]



[対策メニュー]



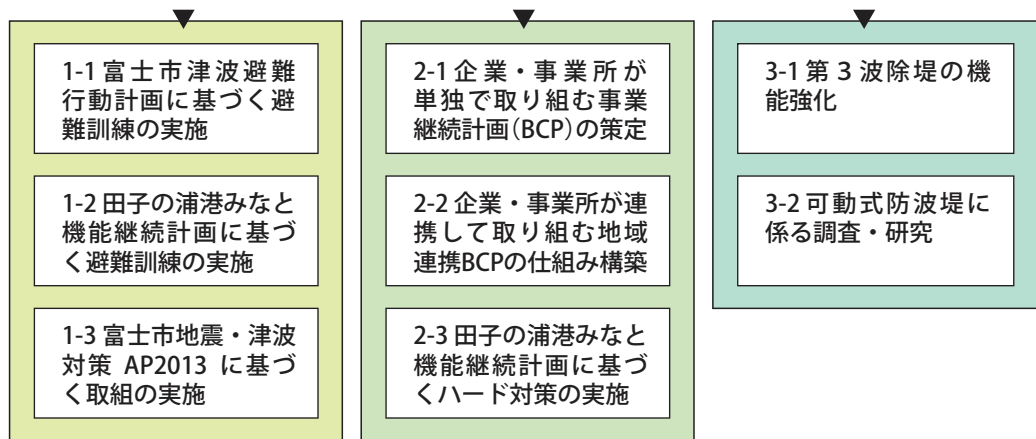
[減災目標]



[対策の柱]



[具体的な取組]





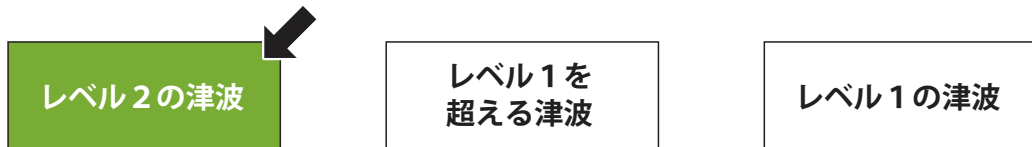


## 03 津波対策の基本方針

- 「**減災**」という考え方にに基づき、レベル2津波による被害を最小限に抑えます。
- ソフト対策とハード対策を組み合わせた「**多重防御**」により、総合的な津波対策を実施します。

### 1. 対象津波 「レベル2」

「レベル2津波」に対応した対策を行います。



### 2. 要求性能 「減災」

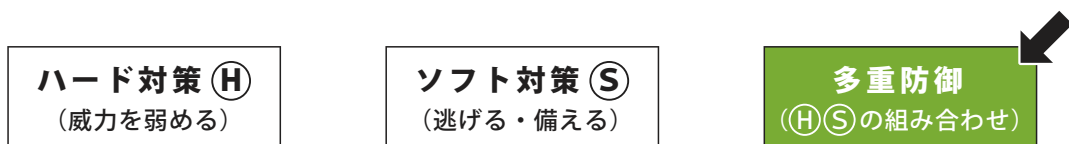
「減災」という考え方にに基づき、レベル2津波による被害を最小限に抑えます。

「完全防災」は、コンクリート構造物などで災害を完全に封じ込めるという考え方になりますが、「減災」は、自然の大きな力がかわしたり、やわらげたりしながら、被害を完全に防ぐことはできなくても、被害を最小限に抑えようという考え方になります。



### 3. 対策メニュー 「多重防御」

「なんとしても人命を守る」、「災害に上限はない」という考え方のもと、ソフト（津波そのものから回避する）対策とハード（津波の外力を低減する）対策を組み合わせた「多重防御（ソフトとハードの組み合わせ）」を減災対策の基本とし、ソフトとハードによる総合的な津波対策を実施します。



## 04 減災目標の設定

- 関連計画と整合を図りながら、**減災目標（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）**を設定しました。
- また、減災目標の達成を目指し、具体的な**数値目標・機能回復目標（Target）**を設定しました。

### 1. 減災目標Ⅰ 人命を守る

静岡県第4次地震被害想定によると、レベル2津波による富士市の人的被害（死者数）は90人と想定されています（季節：冬、時間帯：深夜、避難行動：早期避難率低）。

リセットのきかない人命を、なんとしても守ることを第1の目標とします。

#### ① 住んでいる人たちの命を守ります（居住者）

…静岡県第4次地震被害想定によると、レベル2津波による富士市の人的被害（死者数）は90人と想定されています（季節：冬、時間帯：深夜、避難行動：早期避難率低）。

…田子の浦港周辺に住んでいる人たちの命を、なんとしても守ります。

#### ② 活動している人たちの命を守ります（社員、従業員等）

…田子の浦港周辺には、数多くの企業（事業所）が立地し、活発な企業活動が行われており、岸壁などでは荷役作業が日常的に行われています。

…田子の浦港周辺で活動している人たちの命を、なんとしても守ります。

#### ③ 訪れる人たちの命を守ります（来訪者、観光客等）

…田子の浦港周辺への来訪者は、年々増加傾向にあり、平成28年度における田子の浦漁協への来客数は年間77,951人に及び、本市の観光拠点となっています。

…田子の浦港周辺に訪れる人たちの命を、なんとしても守ります。



Target（数値目標）👉

人的被害（死者数）**ゼロ**を目指します。

## 2. 減災目標Ⅱ 経済的損失を軽減する

静岡県第4次地震被害想定によると、レベル2津波による富士市の建物被害は、全壊10棟、半壊200棟と想定されています。

住宅被害、事業所被害を最小限に抑え、経済的損失を軽減することを第2の目標とします。

### ④ 住宅被害額を軽減します（居住者）

…治水経済調査マニュアル（案）／平成17年4月1日付け国河計調第2号などに準拠して、レベル2津波による住宅被害額を算出すると、13.3億円になります。

…大規模地震に対する経済被害の軽減などに関して、具体的目標などが定められた地震防災戦略（国の中央防災会議がとりまとめたもの）によると、経済被害額を半減させるという減災目標が掲げられているので、この考え方を参考に、コストとのバランスを考慮しながら、適切な数値目標を設定します。

### ⑤ 事業所被害額を軽減します（企業、事業所等）

…治水経済調査マニュアル（案）／平成17年4月1日付け国河計調第2号などに準拠して、レベル2津波による事業所被害額を算出すると、97.5億円になります。

…大規模地震に対する経済被害の軽減などに関して、具体的目標などが定められた地震防災戦略（国の中央防災会議がとりまとめたもの）によると、経済被害額を半減させるという減災目標が掲げられているので、この考え方を参考に、コストとのバランスを考慮しながら、適切な数値目標を設定します。



Target（数値目標）✌

住宅・事業所被害額の **概ね半減** を目指します。110.8億円 → 50～60億円

### 3. 減災目標Ⅲ 早期復旧を図る

港周辺には数多くの企業・事業所が集積し、多分野かつ広域的な地域経済を支えています。地域経済が大きなダメージを被らないよう、被害を受けた後の早期復旧を図ることを第3の目標とします。

#### ⑥ 港湾機能の早期復旧を図ります

- …「田子の浦港みなと機能継続計画 緊急物資輸送・港湾物流編」の中では、緊急物資と主要貨物である石油製品・重油、バルク貨物の3つの貨物を対象に、機能回復目標が設定されています。
- …同計画によると、緊急物資、石油製品・重油の復旧目標時期は3日後、バルク貨物の復旧目標時期は2週間後（水深-10m）とされているため、これらの実効性を確保し、港湾機能の早期復旧を図ります。

#### ⑦ 地域経済の早期復旧を図ります

- …港周辺には数多くの企業・事業所が集積し、多分野かつ広域的な地域経済を支えていますので、地域経済が大きなダメージを被らないよう、被害を受けた後の早期復旧を図る必要があります。
- …平成28年の熊本地震では、地震による被災で操業が停止した工場が相次いだほか、余震が続いたことで、事業の再開が困難な状況が続きましたが、事業継続計画（BCP）作成企業が約1カ月で復旧した事例を参考に、当面の操業開始目標を1カ月とします。



Target（機能回復目標）

バルク貨物は **発災2週間後** の供用開始を目指します。





## 05 具体的な取組(ソフト対策・ハード対策)と期待される効果

○対策の柱は、「**逃げる**」「**備える**」「**防ぐ**」の3つになります。

○3つの柱に基づいて具体的な取組を展開し、ソフト・ハードの対策を組み合わせた総合的な津波対策を実施します。

### 1. 津波から **逃げる**

	S:ソフト対策 H:ハード対策	自 助	共 助	公 助	継 続	新 規
1-1 富士市津波避難行動計画に基づく避難訓練の実施	● H	●	●	●	●	● 新規
1-2 田子の浦港みなと機能継続計画に基づく避難訓練の実施	● H	●	●	●	●	● 新規
1-3 富士市地震・津波対策 AP2013 に基づく取組の実施	● ●	●	●	●	●	● 新規

### 2. 津波に **備える**

	S:ソフト対策 H:ハード対策	自 助	共 助	公 助	継 続	新 規
2-1 企業・事業所が単独で取り組む事業継続計画（BCP）の策定	● H	●	● 共	● 公	●	● 新規
2-2 企業・事業所が連携して取り組む地域連携 BCP の仕組み構築	● H	● 自	●	●	● 継続	●
2-3 田子の浦港みなと機能継続計画に基づくハード対策の実施	S ●	● 自	● 共	●	●	● 新規

### 3. 津波を **防ぐ**

	S:ソフト対策 H:ハード対策	自 助	共 助	公 助	継 続	新 規
3-1 第3波除堤の機能強化	S ●	● 自	● 共	●	● 継続	● 新
3-2 可動式防波堤に係る調査・研究	S ●	● 自	● 共	●	● 継続	●

## 1. 津波から**逃**げる

### 1-1 富士市津波避難行動計画に基づく避難訓練の実施

- …レベル2津波による浸水エリアには、約1,040人が居住しています。
- …このため、津波による死者数を「ゼロ」にすることを目的として、平成25年3月に「逃げるための対策」に重点を置いた「富士市津波避難行動計画」が策定されました。
- …津波から命を守るためには、一人ひとりが適切な避難行動をとることが最も重要であり、この計画には、津波避難対象区域の住民が、迅速かつ的確な避難行動を実施するための指針等が定められています。
- …今後も引き続き、津波の前にまず地震から身を守ることの大切さを周知するとともに、津波から身を守るための避難目標地点と、そこへ行くまでの安全な避難経路について住民と話し合いを行い、「逃げる」ことを前提とした対策を徹底します。

○「なんとしても人命を守る」、「災害に上限はない」という考え方のもと、「減災」の視点に立ち、ソフト対策の要は「避難」であることを常に念頭に置き、富士市津波避難行動計画に基づく避難訓練を引き続き実施します。

### 1-2 田子の浦港みなと機能継続計画に基づく避難訓練の実施

- …レベル2津波による浸水エリアでは、約2,160人が活動しています。
- …このため、田子の浦港で働く人々の「命を守る」ことを目的として、平成26年3月に「田子の浦港みなと機能継続計画 - 避難誘導編 -」が策定されました。
- …津波から命を守るためには、一人ひとりが適切な避難行動をとることが最も重要であり、この計画では、津波開始時間、津波到達時間を考慮し、「逃げ切れる」避難を目標レベルに掲げています。
- …また、訓練等による実際の避難行動によりPDCAサイクルを繰り返し、定期的に検証を行う中で、問題点・課題が顕在化したら、関係者間で情報共有を図り、必要に応じて見直しを行うこととされています。

○「なんとしても人命を守る」、「災害に上限はない」という考え方のもと、「減災」の視点に立ち、ソフト対策の要は「避難」であることを常に念頭に置き、田子の浦港みなと機能継続計画に基づく避難訓練を引き続き実施します。

### 1-3 富士市地震・津波対策アクションプログラム 2013 に基づく取組の実施

…静岡県題 4 次地震被害想定及び「静岡県地震・津波対策アクションプログラム 2013」を踏まえ、今後の地震・津波対策の具体的な行動と数値目標を定めた「富士市地震・津波対策アクションプログラム 2013」が平成 26 年 3 月に策定されました。

…このアクションプログラムには、「自助」、「共助」、「公助」の観点から、富士市が実施主体となるアクションはもとより、市民、事業所、国・県が実施主体となるアクションについても可能な限り盛り込まれています。

…また、「自助」、「共助」の取組を最大限支援するとともに、「自助」、「共助」では対応できない課題に「公助」として積極的に取り組むこととし、定期的に達成状況の検証を行い、必要に応じて対策の手法や目標の見直しを行うこととされています。

○市民一人ひとりが主体的に取り組む「自助」、地域の住民などが協力して取り組む「共助」、自助・共助では対応できない課題に「公助」として取り組むなど、富士市地震・津波対策アクションプログラム 2013 に基づく取組を引き続き実施します。

## 2. 津波に **備**える

### 2-1 企業・事業所が単独で取り組む事業継続計画（BCP）の策定

…大規模な自然災害が発生したとき、事前に事業の優先順位や代替案などを取り決めた事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）を策定していた企業と、策定していない企業とでは、早期の事業継続において大きな差があるといわれています。

…平成 28 年の熊本地震では、地震による被災で操業が停止した工場が相次いだほか、余震が続いたことで、事業の再開が困難な状況が続きましたが、事業継続計画（BCP）を策定していた企業は約 1 カ月で操業を再開しました。

…BCP の策定は、会社を守るだけでなく、従業員を守り、さらには取引先からの信頼を得るものとなりますが、富士市では、関係機関と連携して、BCP 策定に関するセミナーを開催しているほか、BCP を策定しようとする企業に専門家を派遣しています。

○BCP はモノではなく事業を守ることが目的となるため、守る対象は自社だけでなく取引先やライフラインなど社外に渡りますが、まずは危機感を持って自社 BCP に取り組むことの重要性を再認識し、PDCA サイクルを繰り返して熟度を高めます。

## 2-2 企業・事業所が連携して取り組む地域連携 BCP の仕組み構築

- …「減災」のポイントは、被害をいかに小さくするか、被害を受けた後いかに早く復旧するか、の2点にあります。被災後の早期復旧は、地域経済の停滞を回避し、まちを活性化させるためにも、極めて重要な視点になります。
- …田子の浦港周辺には、地域経済を支える企業・事業所が集積しているため、被災後の早期復旧・事業継続に重点を置いたソフト対策が不可欠であり、中部経済産業局では、「地域連携 BCP」を提唱し、“災害に強いものづくり中部”を目指しています。
- …「地域連携 BCP」とは、企業・事業所が単独ではできない取組や企業・事業所が連携することで効果的かつ効率的になる取組を、企業・事業所間の連携によって補い合うことで、実効性・事業継続力の向上を図るといった「新しい概念」になります。

○企業・事業所が単独ではできない取組、あるいは、企業・事業所が連携することで効果的かつ効率的になる取組について、地域連携 BCP の仕組みを構築し、一企業・事業所の枠を超えて連携することで、実効性・事業継続力を強化します。

## 2-3 田子の浦港みなと機能継続計画に基づくハード対策の実施

- …田子の浦港の港湾機能は、多様な企業・事業所と行政機関に支えられており、大規模災害時における緊急物資輸送、港湾物流機能の復旧には、田子の浦港の関係者が連携しながら各々の役割を果たすことが重要です。
- …このような考え方から、発災後の円滑な緊急物資輸送、港湾物流機能の早期復旧を目的として、平成 26 年 3 月に「田子の浦港みなと機能継続計画 -緊急物資輸送・港湾物流編-」が策定されました。
- …この計画の基本的な方針として、突発的に発生する大規模災害に対して、当初から万全な対策の実施を目指すことは困難であることから、優先度の高い対策や実施可能な対策から着手し、継続的に改善を行っていくこととされています。

○発災後における円滑な緊急物資輸送、港湾物流機能の早期再開に向け、耐震強化岸壁の整備や荷役機械の浸水対策など、田子の浦港みなと機能継続計画に基づくハード対策について、優先度の高い対策や実施可能な対策から着手します。



## 3. 津波を 防ぐ

### 3-1 第3波除堤の機能強化

…道路や岸壁などの「陸域」で津波の威力を弱めようとする、反射波の影響によって、もともと浸水域ではなかったエリアに被害が生じてしまうことがわかりました。

…このため、「陸域」ではなく、「港口」で津波の勢いを弱めることとし、レベル2の津波が襲来するとその威力で破壊されてしまうと仮定されている第3波除堤の機能を強化することで、被害を最小限に抑えます。

…レベル2の津波が襲来しても、第3波除堤が破壊されないように粘り強くし、倒れにくくすることで、港に入ってくる津波のボリュームを軽減させます。



○短・中期的な取組として、レベル2の津波が襲来しても、第3波除堤が破壊されないように粘り強くし、倒れにくくする（機能強化を図る）ことで、田子の浦港に入ってくる津波のボリュームを軽減させ、被害を最小限に抑えます。

### 3-2 可動式防波堤に係る調査・研究

…第3波除堤の機能強化が前提になりますが、長期的な方向性としては、可動式防波堤の整備を視野に入れ、調査・研究を進めます。

…可動式防波堤は、浮力を上手に利用し、通常時は鋼管などを海底に沈めておき、津波が襲来したら浮上などさせて、壁をつくるという発想の新しい技術であり、「直立浮上式」と「フラップゲート式」の2つのタイプがあります。

…可動式防波堤は、航路幅が狭い（120 ｍしかない）という田子の浦港の弱みを強みに変えられる有力なツールであり、設置できれば減災効果が著しく高まります。



○長期的には、可動式防波堤の整備を視野に入れ、調査・研究を進めます。  
○可動式防波堤は、航路幅が狭い（120 ｍしかない）という田子の浦港の弱みを強みに変えられる有力なツールであり、設置できれば減災効果が著しく高まります。

## 4. 期待される効果

### 効果1

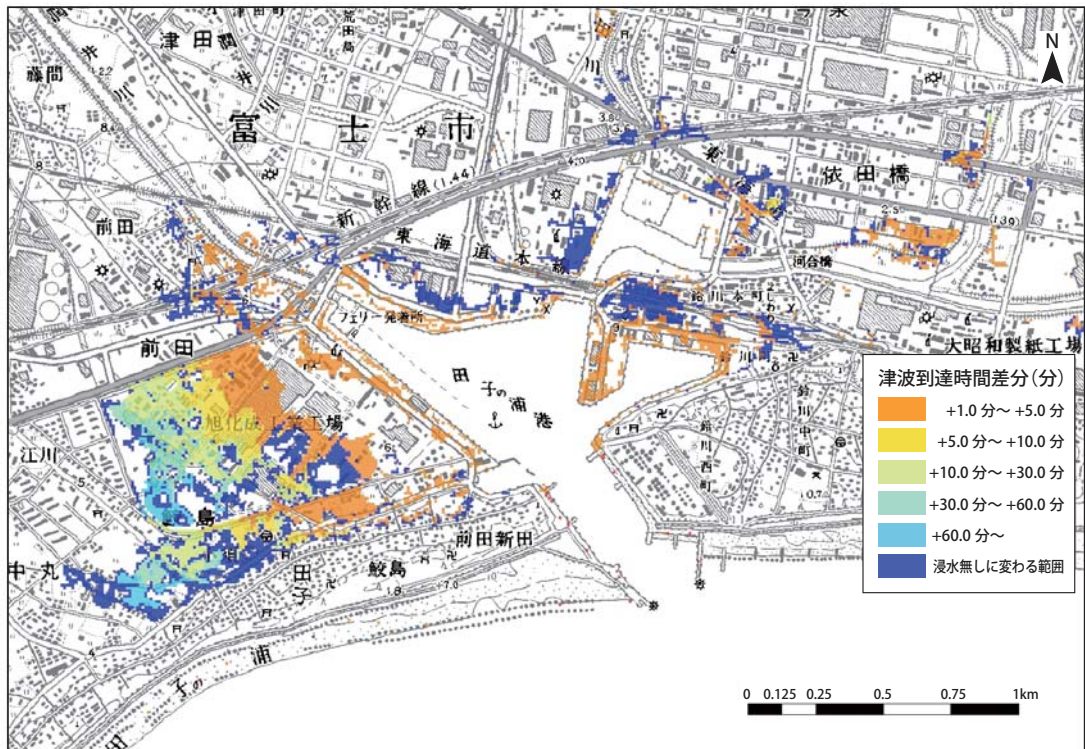
人的被害（死者数）が **限りなくゼロ** になります！

…平成 25 年度に策定した「富士市津波避難行動計画」に基づく実践的な訓練を重ねることや、津波避難タワーの建設（合計 5 基 ※すべて完成済み）などにより、レベル 2 津波による人的被害（死者数）が限りなくゼロになる（概ね防げる）ことが見込まれています。

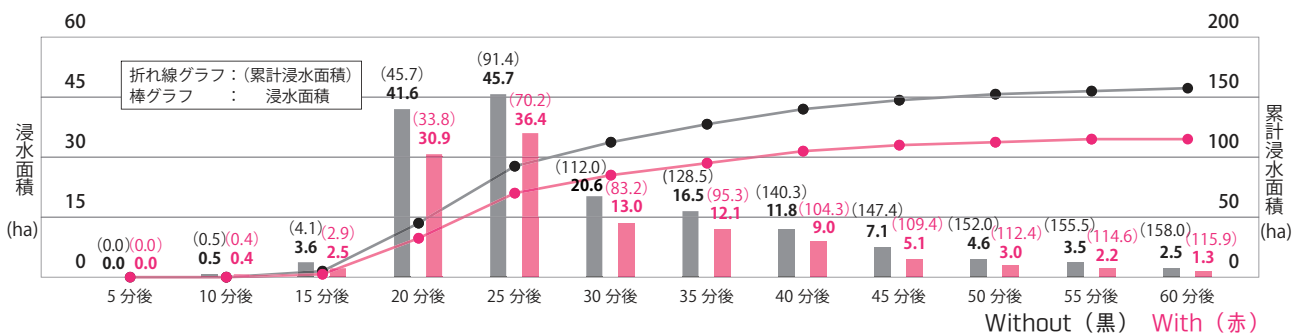
### 効果2

津波から逃げるための **時間を稼ぐ** ことができます！

…第 3 波除堤の機能強化を図ることにより、レベル 2 津波の到達時間を遅らせる効果が発現し、このことにより、津波から逃げるための時間を稼ぐことができ、ひいては、人的被害の軽減効果につながります。



対策を講じた場合 / With と何もしない場合 / Without の 津波到達時間の差分図

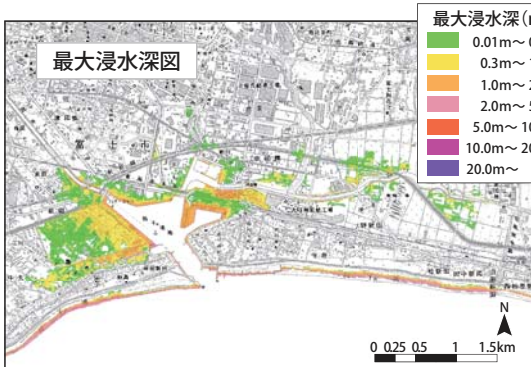


**効果3**

津波による浸水面積が **約4分の3** になります！

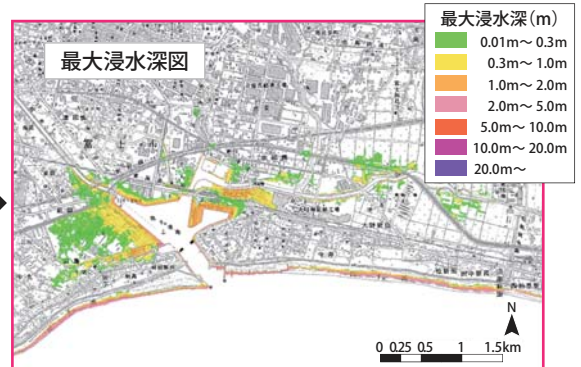
…第3波除堤の機能強化を図ることで、田子の浦港に入ってくる津波のボリュームが軽減し、レベル2津波による浸水面積が約4分の3になります。

[ Without / 何もしない場合 : 168ha → With / 対策を講じた場合 : 129ha ]



▽ 浸水面積

全体	富士	中央	鈴川	その他
168ha	87ha	11ha	22ha	48ha



▽ 浸水面積

全体	富士	中央	鈴川	その他
129ha	67ha	8ha	18ha	36ha

**効果4**

津波による住宅・事業所被害額が **概ね半減** します！

…第3波除堤の機能強化を図ることで、田子の浦港に入ってくる津波のボリュームが軽減し、レベル2津波による住宅・事業所被害額が概ね半減します。

[ Without / 何もしない場合 : 110.8 億円 → With / 対策を講じた場合 : 61.2 億円 ]

○ 住宅被害額  
 = 全壊棟数 (14.5 棟) × 1 棟あたり工事必要単価 (3,000 万円/棟)  
 + 半壊棟数 (118.7 棟) × 1 棟あたり家庭用品評価単価 (750 万円/棟)  
 = 13.3 億円

○ 事業所被害額  
 = 浸水区域従業者数 (2,160 人) × 全半壊被害率 (平均 54.8%)  
 × 従業者 1 人あたり償却資産評価額及び在庫資産評価額 (823 万円/人)  
 = 97.5 億円

▶ Without 合計 : 110.8 億円

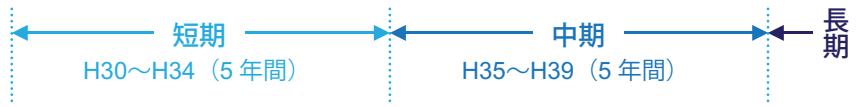
○ 住宅被害額  
 = 全壊棟数 (12.9 棟) × 1 棟あたり工事必要単価 (3,000 万円/棟)  
 + 半壊棟数 (118.9 棟) × 1 棟あたり家庭用品評価単価 (750 万円/棟)  
 = 12.8 億円

○ 事業所被害額  
 = 浸水区域従業者数 (1,980 人) × 全半壊被害率 (平均 29.7%)  
 × 従業者 1 人あたり償却資産評価額及び在庫資産評価額 (823 万円/人)  
 = 48.4 億円

▶ With 合計 : 61.2 億円

※ 治水経済調査マニュアル (案) / 平成 17 年 4 月 1 日付け国河計調第 2 号などに準拠して算出

# 06 取組の展開スケジュール



1. 津波から <b>逃</b> げる		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40以降
1-1	富士市津波避難行動計画に基づく避難訓練の実施 <small>継続・新規</small>	自助(津波避難訓練への参加)、共助(津波避難訓練の計画・開催)、公助(津波避難訓練の支援)										
1-2	田子の浦港みなと機能継続計画に基づく避難訓練の実施 <small>継続・新規</small>	平時における避難訓練の実施、予防措置の見直し、継続的な計画の見直し										
1-3	富士市地震・津波対策AP2013に基づく取組の実施 <small>継続・新規</small>	津波から逃げる環境、津波に備える体制の整備、津波を防ぐ施設の整備										

2. 津波に <b>備</b> える		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40以降
2-1	企業・事業所が単独で取り組む事業継続計画(BCP)の策定 <small>継続・新規</small>	事業継続計画(BCP)の策定、実効性の確保に係る見直し(ブラッシュアップ)										
2-2	企業・事業所が連携して取り組む地域連携BCPの仕組み構築 <small>継続・新規</small>	地域連携BCPの仕組み構築 地域連携BCPの策定支援、実効性の確保に係る見直し(ブラッシュアップ)										
2-3	田子の浦港みなと機能継続計画に基づくハード対策の実施 <small>継続・新規</small>	優先度の高い対策の実施、実施可能な対策実施、計画的な改善										

3. 津波を <b>防</b> ぐ		H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40以降
3-1	第3波除堤の機能強化 <small>継続・新規</small>	機能診断 測量、設計 対策工事の実施 港湾管理者との協議										
3-2	可動式防波堤に係る調査・研究 <small>継続・新規</small>	情報収集、開発動向調査、港湾管理者との協議、国・県への相談・技術的支援要請										

※ 取組の展開スケジュールは、あくまで予定であり、社会・経済情勢の変化などがあつた場合は、必要に応じて見直しを行います。



## にぎわいづくり編



田子の浦港に寄港した、帆船 日本丸（H28）



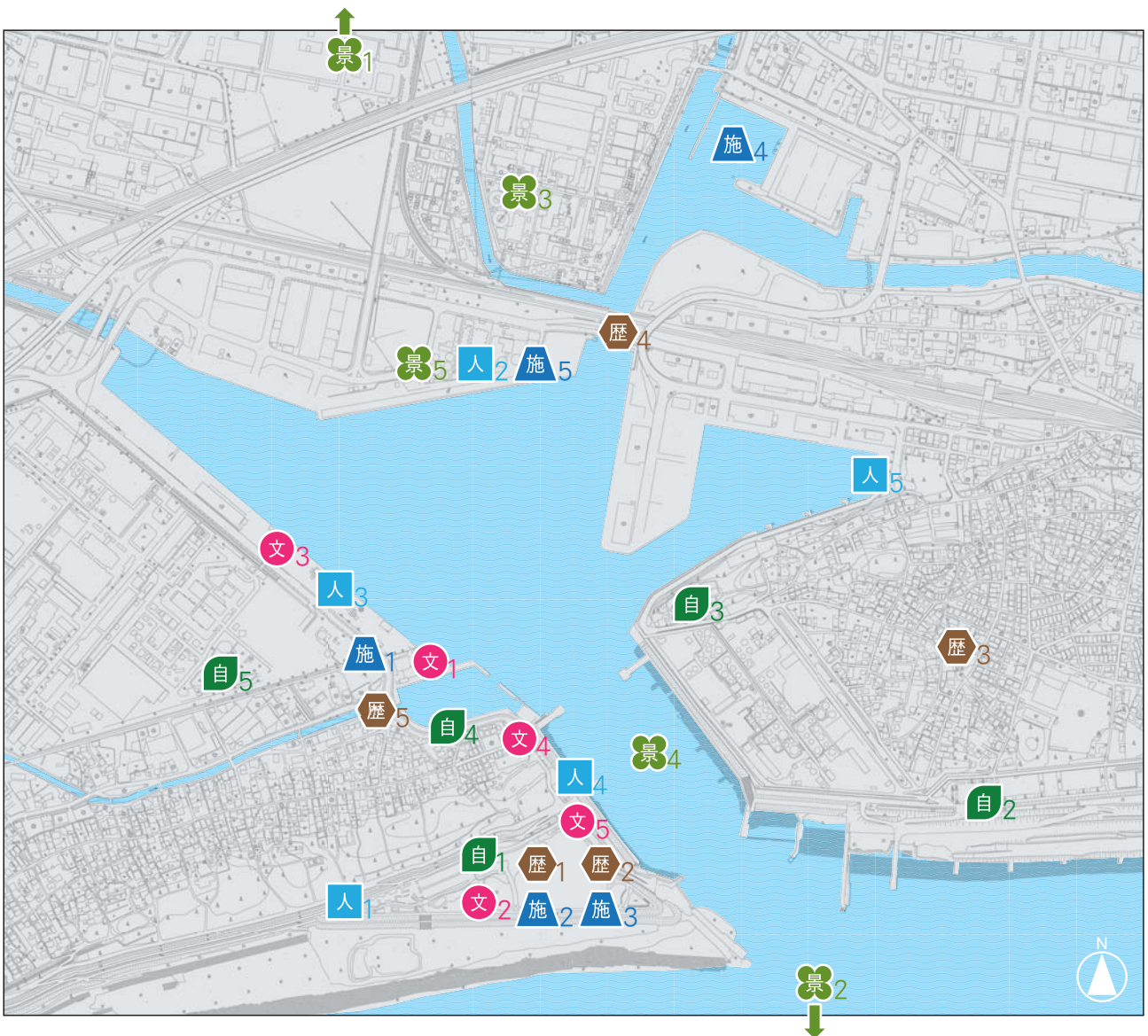


# 01 田子の浦港周辺の地域資源

田子の浦港周辺には、景観や自然、歴史、文化などの 地域資源（景観資源、自然資源、歴史資源、人工資源、文化資源、施設資源）が豊富に存在しています。

田子の浦港周辺には豊富に存在する「地域資源」

- 景：景観資源 … 特色ある景色・ながめ
- 自：自然資源 … 公園、緑地、散策路
- 歴：歴史資源 … 史跡、むかし話、神社仏閣
- 人：人工資源 … 港湾施設、人工物
- 施：施設資源 … ランドマーク、地場産業
- 文：文化資源 … まつり、イベント、食文化



景観資源

- 1 海拔 0 ㍍から山頂まで眺望できる世界文化遺産**富士山**の大パノラマ 
- 2 世界で最も美しい湾クラブに加盟する**駿河湾**のオーシャンビュー 
- 3 港の明かりを中心に富士山・駿河湾とセットで楽しめる**工場・埠頭夜景** 
- 4 眼前に迫る**大型貨物船**の迫力ある往来や活気ある**漁船**の機敏な航行 
- 5 中央埠頭にそびえ立つ巨大な**サイロ**や、**アンローダー**などの港で働く荷役機械 

自然資源

- 1 **ふじのくに田子の浦みなと公園** (平成 30 年 2 月から全部供用を開始) 
- 2 (仮称) **砂山みなと公園** (平成 30 年 4 月から部分供用を開始)・砂山公園 ※イメージ 
- 3 **富士と港の見える公園・展望タワー** (平成 30 年度供用開始) ※イメージ 
- 4 連続的な景観変化が楽しめる臨港道路 15 号線のゆるやかな**S 字カーブ** 
- 5 **あさひ・いのちの森** (旭化成(株)富士支社の一角に造成されている 1 万㎡の緑地) 

歴史資源

- 1 安政の大地震の津波に襲われ、田子の浦沖で難破したロシア軍艦「**ディアナ号**」 
- 2 奈良時代の歌人「**山部赤人**」が詠んだ「富士山を望む歌」、山部赤人万葉歌碑 
- 3 富士登山の前に海岸で精進潔斎を行い、安全を祈願したとされる**富士塚** 
- 4 明治 18 年に築造され、美しい六連型アーチを描いていた**沼川石水門の記念碑** 
- 5 明治 36 年の築造以来、水害から地域を守り続けた**田子江川水門の碑** 

人工資源

- 1 海岸線 (富士市内≒10km) に整備されている日本一の高さ (17 ㍍) の**防潮堤** 
- 2 水深 12 ㍍を有する外航貿易埠頭で石炭、とうもろこしなどを取り扱う**中央埠頭** 
- 3 イベントの開催や大型客船の誘致など多目的に利用できる**富士埠頭** 
- 4 かつては漁船の揚げ降ろしに使われていた穴場スポット的な**前田船揚場** 
- 5 JR 吉原駅からマイタウンポートへのエントランスとして活用可能な**鈴川船溜り** 

施設資源

- 1 極上のぷりぷりしらすを味わえる**田子の浦港漁協食堂・富士山しらす街道** 
- 2 ふじのくに田子の浦みなと公園内の船形施設「**歴史学習施設ディアナ号**」 
- 3 ふじのくに田子の浦みなと公園内(高さ 37.76 ㍍)の「**富士山ドラゴンタワー**」 
- 4 田子の浦港水面貯木場を埋め立てて整備が進んでいる**プレジャーボートスポット** 
- 5 中央埠頭 (国際物流ターミナル) にそびえ立つセメントやメイズの巨大な**サイロ** 

文化資源

- 1 一艘曳きにこだわった極上のぷりぷりしらす (地理的表示 (GI) 保護制度登録) 
- 2 各種団体の模擬店やアトラクションが繰り広げられる**田子浦みなと祭り** 
- 3 田子の浦港のにぎわいづくりの一環として開催される**田子の浦ポートフェスタ** 
- 4 オープンスペースでのイベントを通じて、にぎわいを創出する**みなとマルシェ** 
- 5 海上・陸上のデュアル走行が楽しめる**水陸両用バス**のクルーズ&ドライブ 

に け わ づ ぐ り 繰





## 02 にぎわいづくりのコンセプト

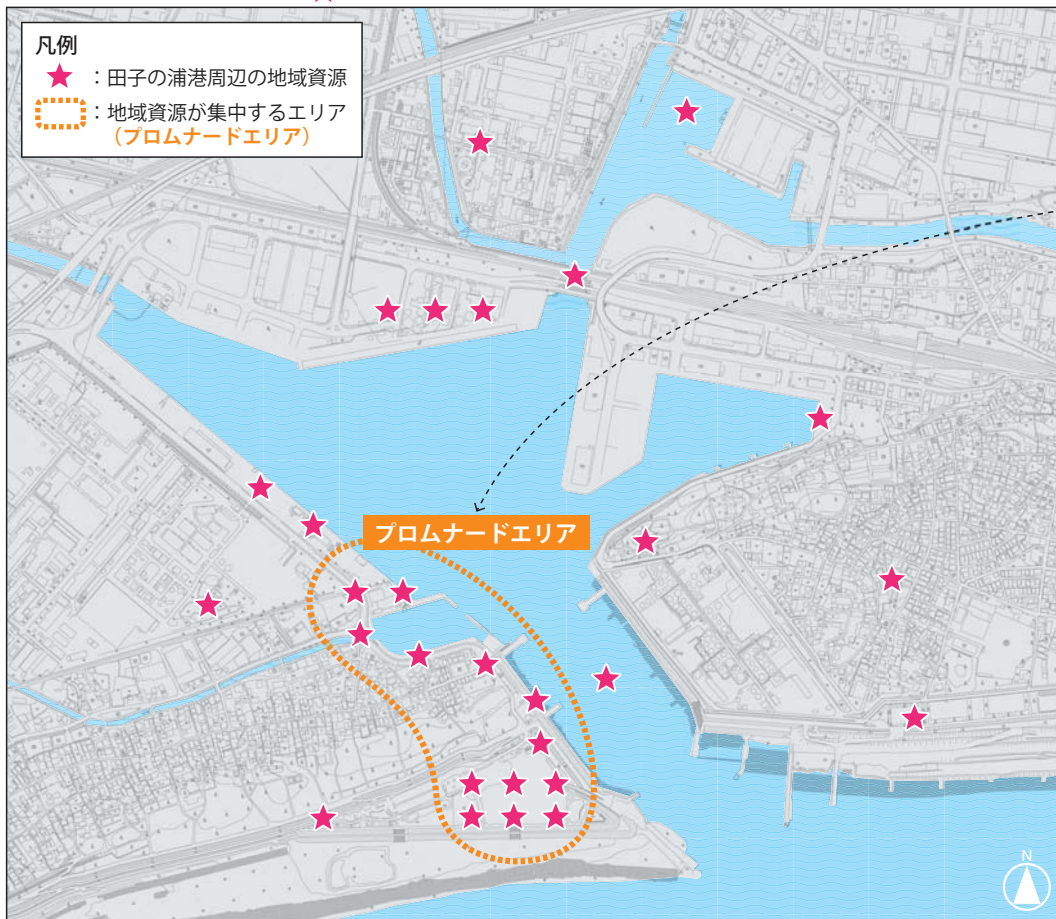
- 田子の浦港ならではの景観資源（特色ある景色・ながめ）である「富士山」と「駿河湾」の眺望を にぎわいづくりに活用します。
- 地域資源が集中するエリアで、先導的・優先的に取組を展開します。

### CONCEPT 1

富士山の眺望を にぎわいづくりに活用します



富士山



### CONCEPT 3

プロムナードエリアで先導的・優先的に取組を展開します

駿河湾

### CONCEPT 2

駿河湾の眺望を にぎわいづくりに活用します





## 03 基本目標と取組の内容

- にぎわいづくりのコンセプトに基づき、基本目標を設定しました。
- 基本目標の達成に向けて様々な取組を展開し、「人と人、人と海との交流の場があるマイタウンポート」を目指します。

### 基本目標Ⅰ

#### 1. 拠点内に **たまる** にぎわいづくり

- …プロムナードエリアには、「田子の浦港漁協食堂」と「ふじのくに田子の浦みなと公園」の2つの拠点が存在します。
- …これら2つの拠点内に人が **たまる** にぎわいづくりを進めます。



### 基本目標Ⅱ

#### 2. 拠点間を **つなぐ** にぎわいづくり

- …プロムナードエリアに存在する2つの拠点を **つなぐ** にぎわいづくりを進めます。
- …これら2つの拠点間をつなぐ区間をプロムナードゾーンとして位置づけ、多くの人が行き来し、楽しめるにぎわい空間を創出します。



### 基本目標Ⅲ

#### 3. 地域資源を **めぐる** にぎわいづくり

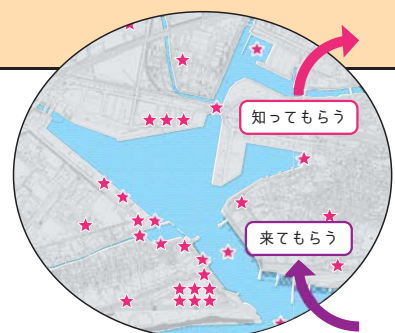
- …田子の浦港周辺に豊富に存在する地域資源を **めぐる** にぎわいづくりを進めます。
- …地域資源を陸上や海上でめぐることで、そのものが、楽しみの一ひとつとなるような、人と海との交流の場を創出します。



### 基本目標Ⅳ

#### 4. 戦略的な **プロモーション** による にぎわいづくり

- …情報発信の強化や様々なイベントの開催など、戦略的な **プロモーション** によるにぎわいづくりを進めます。
- …知ってもらう・来てもらうための仕掛けを展開し、田子の浦港ならではの魅力づくりを推進します。



## 1. 拠点内に **たまる** にぎわいづくり

プロムナードエリアに存在する「**田子の浦港漁協食堂**」と「**ふじのくに田子の浦みなと公園**」の2つの拠点内に人が たまる にぎわいづくりを進めます。



### 1-1 にぎわい拠点機能の強化 田子の浦港漁協食堂

- 漁協食堂でしか味わえないレトロな空間・雰囲気の磨き上げ
  - ・飲食スペースの快適性・利便性向上
  - ・来場者の興味を惹き付ける施設の整備
  - ・市場開放イベントや朝市の開催
- 施設の高層化・土地の有効活用など、全面的なリニューアル
  - ・展望レストラン・デッキの整備
  - ・冷蔵・冷凍設備の更新
  - ・立体駐車場の整備

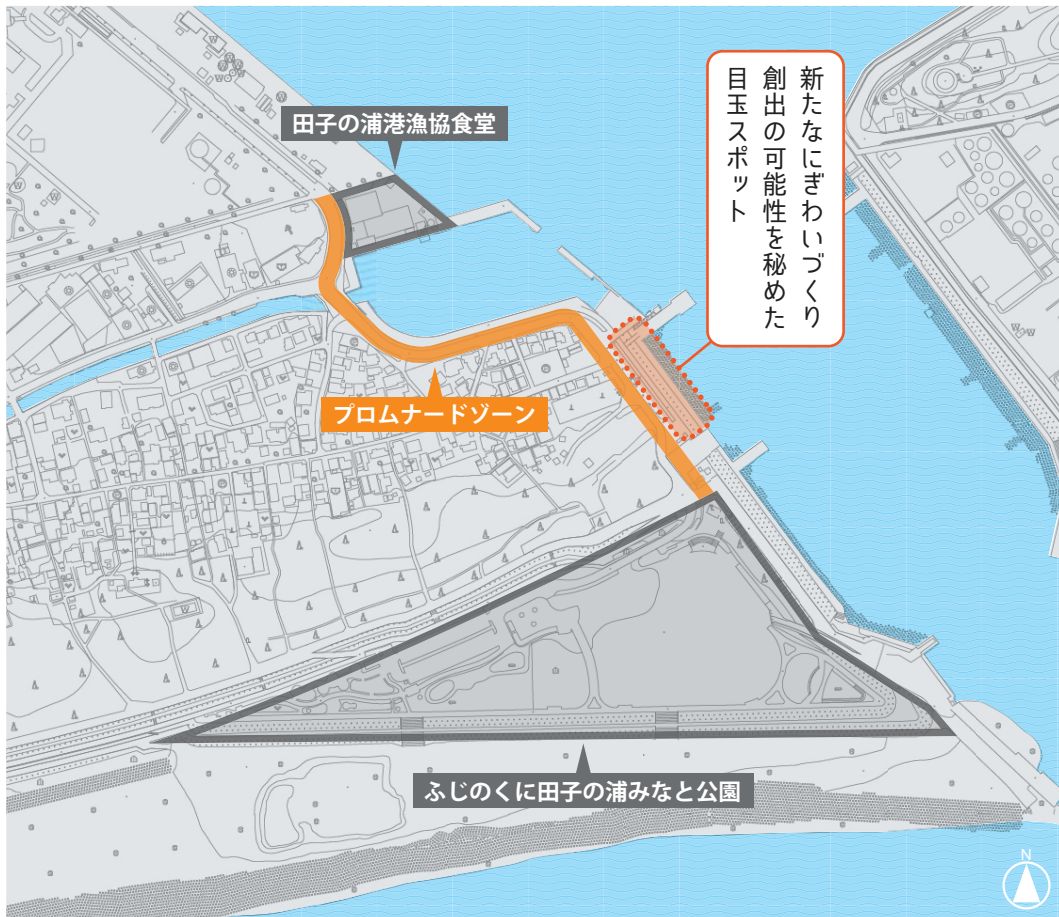
### 1-2 にぎわい拠点機能の強化 ふじのくに田子の浦みなと公園

- 施設資源を利用した地域ぐるみでの新たな魅力強化
  - ・歴史ロマンあふれる空間の継承
  - ・地域に開かれた交流の場としての活用
  - ・歴史・文化スポットの掘り起こし
- オープンスペース・公園施設空間・空きスペースを利用した魅力づくり
  - ・特色あるまつり・イベントの開催
  - ・ミニコンサート・公開結婚式の開催
  - ・屋台・オープンカフェの出店



## 2. 拠点間をつなぐにぎわいづくり

田子の浦港漁協食堂 と ふじのくに田子の浦みなと公園 を つなぐ「プロムナードゾーン」の にぎわいづくりを進め、多くの人が行き来し、楽しめるにぎわい空間を創出します。



### 2-1 にぎわい事業の展開

#### ソフト事業：プロムナードゾーン

##### ○漁網倉庫周辺の空きスペースを利用したにぎわい事業の展開

- ・特色あるイベントの開催
  - ・街路市・フリーマーケット（物販利用）
  - ・キッチンカー・屋台（移動型飲食利用）

##### ○目玉スポットの空間創出・利用によるにぎわい事業の展開

- ・新たな空間の創出（漁網倉庫の移転）
- ・まつり・イベント（短期・単発利用）
- ・オープンカフェ（屋外設備型飲食利用）

### 2-2 にぎわい空間の整備

#### ハード事業：プロムナードゾーン

##### ○安心・安全で歩いて楽しい沿道空間の整備（プロムナード化）

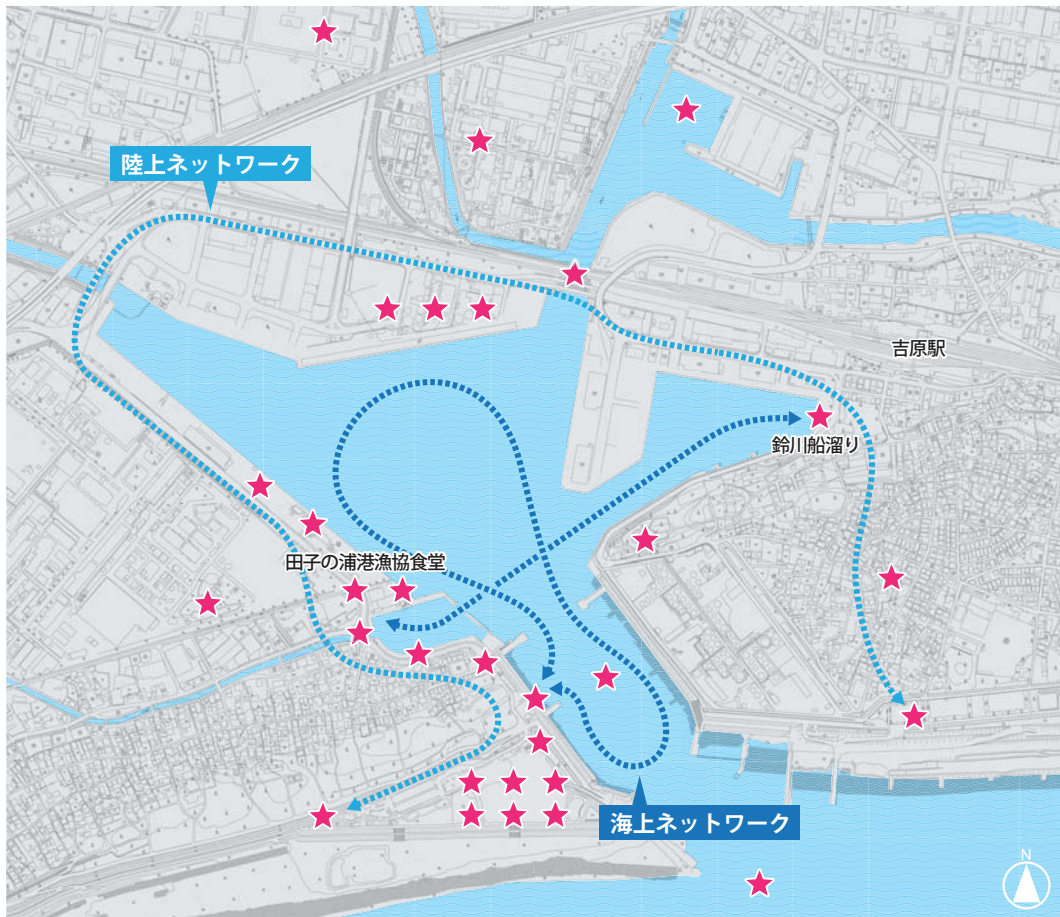
- ・安心・安全な道路空間の確保
- ・ベンチなど休憩・滞留空間の整備
- ・環境・景観に配慮した舗道の整備

##### ○目玉スポットを活用した官民連携によるにぎわい事業の展開など

- ・新たなにぎわい空間の整備【PPP】
- ・人工資源（前田船揚場、第3波除堤）を利用した親水・レジャー空間の整備

### 3. 地域資源をめぐるとにぎわいづくり

田子の浦港周辺に豊富に存在する「地域資源」を、陸上や海上でめぐるとにぎわいづくりを進め、めぐることそのものが楽しみのひとつとなるような、人と海との交流の場を創出します。



#### 3-1 田子の浦港周辺を陸上でめぐるネットワーク環境の充実

##### ○地域資源をめぐると自転車走行ネットワーク空間の整備

- ・自転車走行空間の整備
- ・案内誘導標識などの設置
- ・駐輪施設の整備

##### ○地域資源をめぐるとエリア交通の充実

- ・岳南電車、路線バス、コミュニティバスとの連携強化
- ・歩いて楽しい歩行者ルートの確保
- ・公共空地を活用した歩行者動線の確保

#### 3-2 田子の浦港周辺を海上でめぐるネットワーク動線の形成

##### ○田子の浦港漁協食堂～吉原駅（交通結節点）間のアクセス性の強化

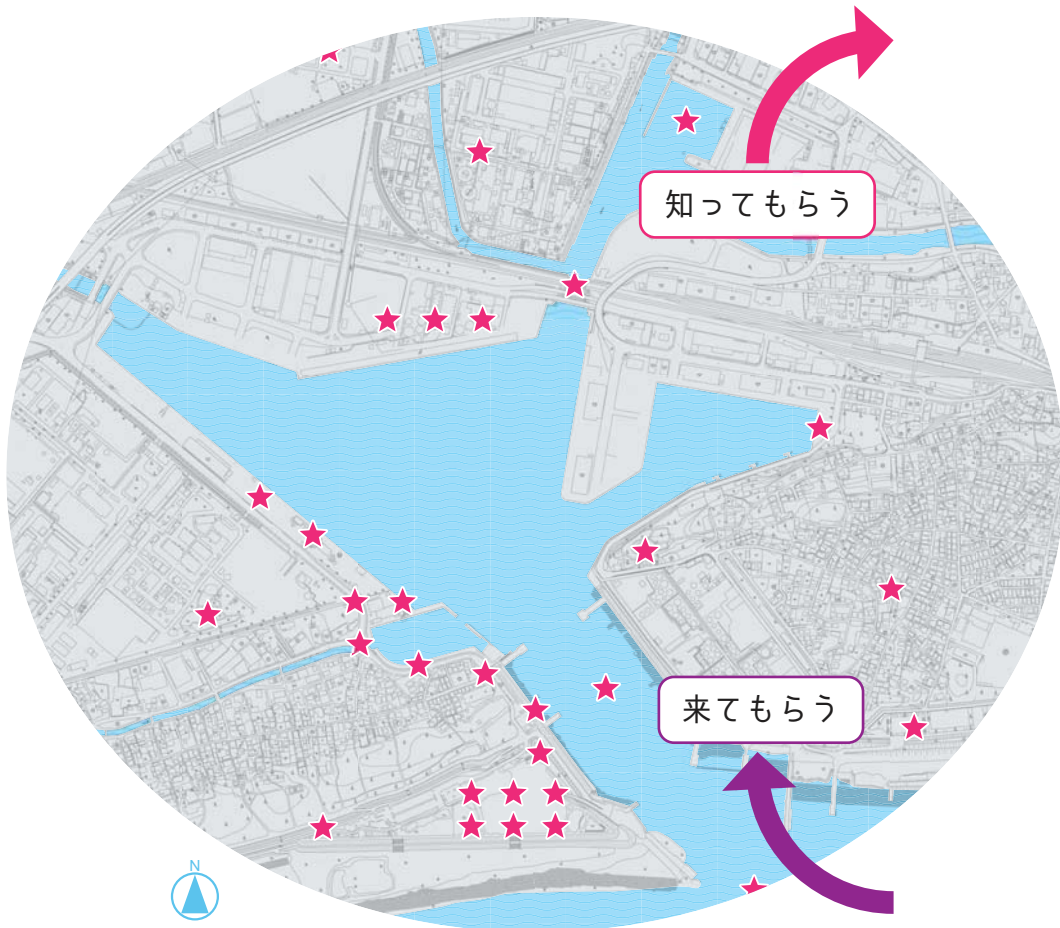
- ・吉原駅（JR東海道本線・岳南鉄道）からのフィーダー動線の確保
- ・人口資源（鈴川船溜り）の多目的利用

##### ○目玉スポットとの連携によるにぎわい機能の強化

- ・水陸両用バスの導入促進による新たなドライブ&クルーズレジャーの創出
- ・陸上運行と海上運航のシームレス化

## 4. 戦略的なプロモーションによるにぎわいづくり

情報発信の強化や様々なイベントの開催など、戦略的なプロモーションによるにぎわいづくりを進め、田子の浦港の魅力に実際に触れてもらうための仕掛けづくりを展開します。



### 4-1 田子の浦港の魅力を知ってもらうための仕掛けの展開

#### ○市内外に対する情報発信のための様々な媒体の活用

- ・田子の浦港の持つ魅力を知ってもらうため、県や市の広報媒体だけでなく、映像、インターネット、情報誌、マス・メディアなど、官民一体となって多様な媒体を活用しながら積極的な情報発信を行うとともに、情報を訴求したい相手によって最適な媒体を活用するなど、効果的な情報発信を行います。

### 4-2 田子の浦港に実際に来てもらうための仕掛けの展開

#### ○「たまる」・「つなぐ」・「めぐる」にぎわいづくりのパッケージ展開

- ・田子の浦港ならではの魅力づくりを推進するためには、実際に来てもらい、田子の浦港の魅力に直接触れてもらうことが重要です。
- ・「たまる」・「めぐる」・「つなぐ」にぎわいづくりを効果的かつ効率的に組み合わせた「パッケージアプローチ」による取組を展開します。





# 04 取組の展開スケジュール



※ 取組の展開スケジュールは、あくまで予定であり、社会・経済情勢の変化などがあった場合は、必要に応じて見直しを行います。

# Epilogue



海拔 0m からの世界文化遺産 富士山（田子の浦港 中央航路）

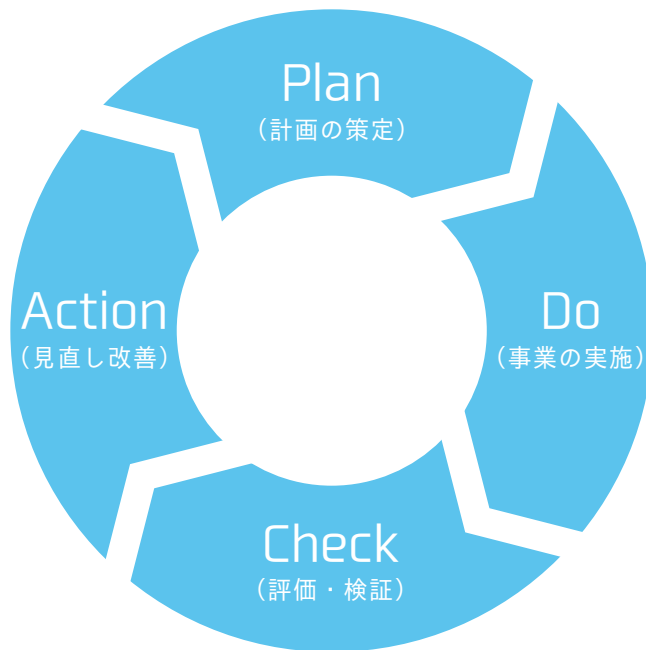




## 01 ビジョンの推進に向けて

継続的な進捗管理を行いながら、Plan（計画の策定）Do（事業の実施）Check（評価・検証）Action（見直し改善）のPDCAサイクルによって、防災対策 や にぎわいづくり に関する取組を展開します。

[PDCAサイクルのイメージ]



旧ビジョンにおいて、推進協議会は、ビジョンの策定にとどまらず、事業を実施する主体としても位置づけられていましたが、新ビジョンの推進にあたっては、富士市がイニシアチブをとって事業を実施することとし、全体会議、防災対策部会、にぎわいづくり部会を必要に応じて開催することとします。

また、本ビジョンは不変なものではなく、取組の展開スケジュールは、あくまで予定であり、社会・経済情勢の変化などがあった場合は、必要に応じて見直しを行います。

● 改訂の経過

年度	防災対策部会	にぎわいづくり部会
H26	<b>平成 26 年 9 月 田子の浦港振興ビジョン策定</b>	
	2月 静岡モデル推進検討会	2/18
	第4回 防災対策部会	2/20
H27		4月 コアメンバー会議 4/28
		6月 なでしこ会議 6/5
		10月 なでしこ会議 10/19
	11月 静岡モデル推進検討会	11/24
		コアメンバー会議 11/26
	12月 第5回防災対策部会	12/3
H28	5月 静岡モデル推進検討会	5/30
	6月 コアメンバー会議	6/3
	第6回 防災対策部会	6/8
		6月 なでしこ会議 6/30
		7月 第5回 にぎわいづくり部会 7/14
H29	6月 コアメンバー会議	6/9
	8月 第7回 防災対策部会	8/30
	10月 静岡モデル推進検討会	10/12
		コアメンバー会議 10/18
	11月 静岡モデル推進検討会	11/16
		コアメンバー会議 11/21
	1月 第8回 防災対策部会	1/19
		2月 第6回 にぎわいづくり部会 2/2
	3月 田子の浦港振興ビジョン推進協議会（全体会議）	3/23

● 田子の浦港振興ビジョン推進協議会

事業所・団体・所属組織等		氏名	防災対策部会	にぎわいづくり部会
会長	富士市長	小長井義正		
港周辺企業	旭化成株式会社 富士支社	大和田敦史	●	●
	宇部三菱セメント株式会社 名古屋支店	山下圭一郎	●	
	ジャトコ株式会社	真下 裕之		●
	太平洋セメント株式会社 中部北陸支店	黒田 誠之	●	
	田子の浦埠頭株式会社	小泉 明弘	●	●
	日本食品化工株式会社 富士工場	藤田 慶一	●	
	日本製紙株式会社 富士工場	滝 喜文	●	
	日本通運株式会社 富士支店	加賀屋隆太	●	
	富士急静岡バス株式会社	桑原 圭志		●
	株式会社富士ロジテック 静岡	鈴木 裕	●	
	株式会社山清倉庫	山田 敏雄	●	
	各種団体	静岡県タクシー協会 富士富士宮支部	米山 政司	
田子の浦漁業協同組合		志村 正人	●	●
田子の浦港石油基地親和会		横山 光一	●	
一般社団法人富士山観光交流ビューロー		土屋 俊夫	●	●
富士商工会議所		清水 和広	●	●
地元住民代表	田子浦地区まちづくり協議会	早房 照芳	●	●
	田子浦地区区長連合会	早房 照芳		●
	元吉原地区町内会連合会	鈴木 良一	●	
	NPO 法人みなと・まち育て田子浦	村松 和欣		●
関係行政機関	静岡県田子の浦港管理事務所	梅原 正	●	●
	静岡県東部危機管理局	柳本 仁	●	
	静岡県富士土木事務所	大石 俊一	●	
	富士市産業経済部	成宮 和具	●	●

※ 敬称略（平成 30 年 3 月現在）





平成 30 年 3 月

編集 田子の浦港振興ビジョン推進協議会  
発行

[事務局] 富士市 産業政策課 港湾振興室  
〒417-8601 富士市永田町1丁目100番地

